

# 輸出事業計画

※申請者名：大分県農業協同組合、品目：ぶどう

## 1. 輸出における現状と課題

### ○現状

国で開発されたシャインマスカットは食味や貯蔵、輸送性の高さから国内外問わず需要が高まっている。特に東南アジアでの中秋節を中心に贈答品として高値で取引されている。日本の贈答需要期とは時期が異なることから、繁忙期の集中をさけることができ、価格の安定にもつながっている。こうした動きの中、当組合内でも海外を含め新たな販路を求める生産者も出てきたことから、平成27年度の香港に始まり、直近では台湾、タイ向けにも輸出している。

### ○課題

輸出に取り組む生産者は一定程度存在するがまだ多いとは言えず、地域をあげた取組や産地間が連携した一体となった取組にまで至っていないため、取引先が求める数量等のニーズに応えられない状況も発生している。

また、春節の贈答用としての引き合いがあるものの、貯蔵技術が確立していないため対応できていなかったり、現地が求める仕様の販促資材が提供できていなかったりするなど、現地ニーズを捉えた取組が求められている。

## 2. 輸出事業計画の取組内容

### 【生産面】

- ・春節の贈答用需要に向けた貯蔵については、温度や湿度、鮮度保持材等が異なる環境下で貯蔵試験に取り組む、標準的な貯蔵技術を確立する。
- ・当組合はJGAP認証を取得した農場数が日本一の農協であり、これまでのノウハウを活かし、ぶどう生産者向け研修会を開催するなどGAP的手法を取り入れた産地づくりに取り組む。

### 【加工面】

- ・賞味期限が長い冷凍品の提案に向け、冷凍果実の商品化に向けた取組を進める。

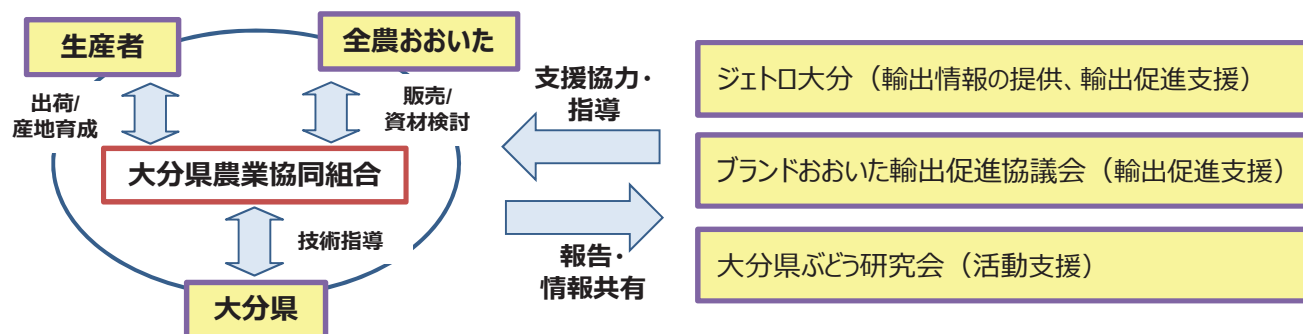
### 【流通面】

- ・輸送中の鮮度保持に係る輸送経費の削減を図るため、長期輸送に適する輸送資材の検討・制作を行うとともに、最短の商・物流を構築した上で、船便での輸送が可能かどうか着荷試験を行う。

### 【販売面】

- ・中秋節や春節などの贈答用で求められる商品規格（房や粒の大きさ等）や化粧箱など販促資材について調査し、制作・試験販売。また、県事業等を通じたECサイト等で冷凍果実の提案・商談を行い取引に繋げる。

## 3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



## 4. 輸出目標額

|         | 現状（令和元年度）           | 目標（令和6年度）             |
|---------|---------------------|-----------------------|
| 輸出額（千円） | 11,629              | 50,000                |
| 輸出量（t）  | 5.5                 | 24                    |
| 輸出先国    | 香港・タイ・台湾、シンガポール、マカオ | 香港・タイ・台湾・マレーシア・EU・スイス |